

Satoyamaイニシアティブを国際的に推進していくため、一連の準備会合の第1回目として、7月25日に「国際Satoyamaイニシアティブ構想に関する有識者会合ー生物多様性と持続可能性ー」を開催。

◇第1回準備会合◇  
2009年7月25日国連大学本部



- ・里山的ランドスケープの特徴と意義を整理。
- ・Satoyamaイニシアティブを国際的に推進していくための効果的なイニシアティブのデザイン(理念、持つべき視点)、今後のスケジュール等を検討。

3つの理念

- 人と自然の共生と循環に関する智慧の結集
- 伝統知識と現代の科学知識の融合
- 新たなコモンズの創造

5つの視点

- ランドスケープの特徴の理解と環境容量・自然復元力の評価
- 地域の伝統的知識と現代の科学知識の融合
- 生態系サービス最適化のための計画の策定
- 多様な主体による土地と自然資源の共同利用と管理参画
- 地域社会・経済への貢献

★主な意見★

- ・生物多様性の保全と人間の福利向上のための里山的ランドスケープ管理の重要性を認識。
- ・自然資源の持続的な管理だけでなく、発展途上国での食糧危機や燃料危機、貧困削減等を対象とし、人間の福利の向上を目的とするべき、との認識を共有。
- ・分野横断的な観点から、多様な主体との連携の重要性の認識を共有。

